

高知市都市美デザイン賞受賞作品

第24回（2008年）

—全体講評—

今年は、建築資材の高騰や建築基準法の改正に伴い着工件数が減少していた中にもかかわらず、各部門とも昨年度とほぼ同数の、一般建築部門9件、住宅建築部門13件、土木工作物部門1件、街並み・まちづくり部門1件、合計24件の応募があった。応募数は昨年度と同様に住宅建築部門が多かった。

入賞は、住宅建築部門の2件のみであった。その他の部門は該当がなく、今回も特賞はなかった。

住宅建築部門の2件の入賞作品は、立地条件、デザインにおいて対照的な住宅であるが、いずれも周辺環境・まちなみとの調和がとれ、デザインや建築物全体の完成度とともに、都市美デザイン賞としてふさわしいものである。

一般建築部門では、豊かな緑の草木に囲まれ、木材と漆喰壁で爽やかな雰囲気のある建築物やデザイン的に完成度の高い建築物も見られたが、入賞には届かなかった。

今後も、高知の素材を活用したり、周辺環境やまちなみに調和した住宅建築や一般建築などが増えていくことを期待する。

住宅建築部門 入賞

K邸(けいてい)

東雲町



- 建築主： 喜多 泰之
(きた やすゆき)
- 設計者： 建築舎KIT
(けんちくしゃきつと)
- 施工者： 株式会社 大幸建設
(かぶしきかいしゃ だいこうけんせつ)

市街地に立地する2階建てのコートハウスで、駐車場を建物内に取り込み、間口は狭いが奥行きのあるシンプルで落ち着いた色彩のモダンな現代町家である。

ファサード壁面には木材、側面壁にガルバリウム鋼板、コンクリートを組み合わせ、材質・色彩面でコントラストが効いている点や縦格子の木がアクセントになっている点などのデザインが評価された。

また、敷地内に塀や門を設けず、前面に枕木を敷いた駐車スペースを取り、外部空間はオープンである。細部も、玄関脇の物置の扉は赤く、アクセントとなっており、建物周辺の緑の配置なども工夫されている。現代のまちなか住宅の一つのモデルとなりうる都市美景観に配慮した住宅である。

一圓邸(いちえんてい)

春野町南ヶ丘



- 建築主： 一圓 哲男・一圓 千英子
(いちえん てつお)・(いちえん ちえこ)
- 設計者： 聖建築研究所
(ひじりけんちくけんきゅうしょ)
- 施工者： 株式会社 益岡工務店
(かぶしきかいしゃ ますおかこうむてん)

郊外住宅地に立地するこの住宅は、周囲の山並みにとけ込むように調和した和風建築である。瓦屋根と勾配の緩やかな金属屋根のバランスも巧く、デザイン的にもまとまりがあり、建築の完成度も高い。玄関先の駐車場も板戸で囲い、玄関アプローチに深く張り出した軒先の木組みも美しく、正面奥の植木の緑に視線を誘う手法も巧みである。薄茶の壁の色彩も落ち着きを与え、静寂な雰囲気を醸している住宅である。

庭のシンボルツリーや生け垣などの緑も住宅と周辺の景観に調和し、住宅を引き立てている。南側から見えるバルコニーについても、自然や景観を楽しむライフスタイルが垣間見えて、全体として好感がもたれた。